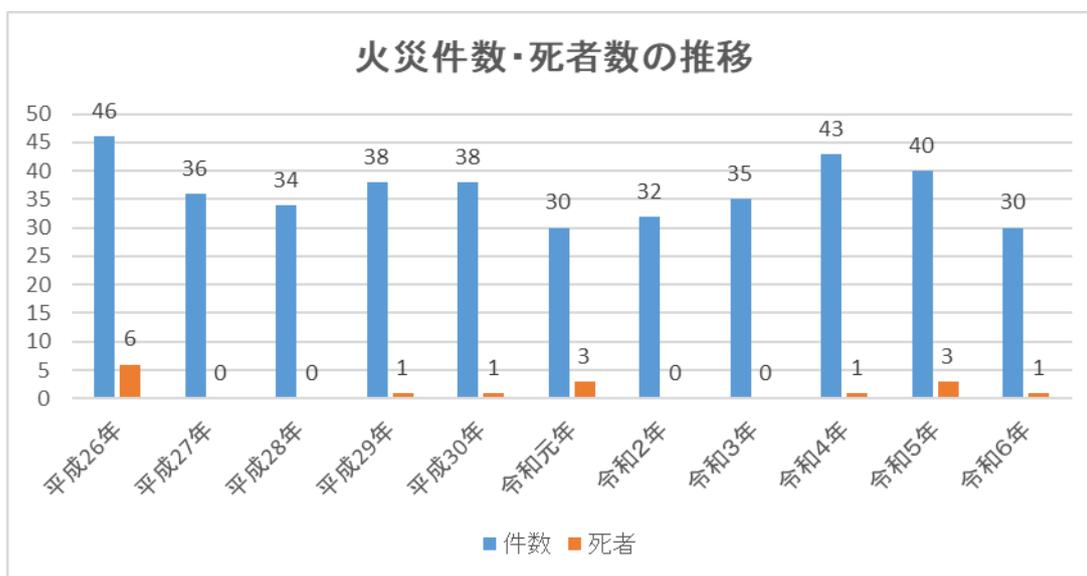


令和6年中の田辺市消防本部の災害統計がまとまりましたので、お知らせします。

## 1 火災統計

### (1) 火災出動件数及び火災による死者数



### (2) 出動状況

(単位：件)

	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	合計
令和6年	19	1	0	0	10	0	30
令和5年	17	2	2	0	19	0	40
増減数	+ 2	- 1	- 2	± 0	- 9	± 0	- 10

火災件数は、30件（前年比：-10件）で、火災による死者は1人でした。（前年比：-2人）  
 火災種別では、建物火災19件及びその他の火災10件で、全火災件数の96.7%を占めています。

## 2 救急統計

### (1) 救急出動件数



### (2) 出動状況

(単位: 件)

種別	令和6年	令和5年	増減数
火災	4	5	-1
自然	1	0	+1
水難	5	5	±0
交通	371	345	+26
労災	50	42	+8
運動	33	30	+3
一般	981	962	+19
加害	14	13	+1
自損	42	48	-6
急病	4,056	4,249	-193
その他	412	386	+26
合計	5,969	6,085	-116

救急車は  
地域の限られた救急資源



救急出動件数は 5,969 件で、昨年に比べ 116 件減少しました。

事故種別では、急病 4,056 件、一般負傷 981 件、交通事故 371 件で全救急出動件数の 90.6% を占めています。

搬送人員は、5,216 人で、そのうち高齢者（65 歳以上）は 3,595 人（前年比：+44 人）で、全体の 68.9% を占めております。

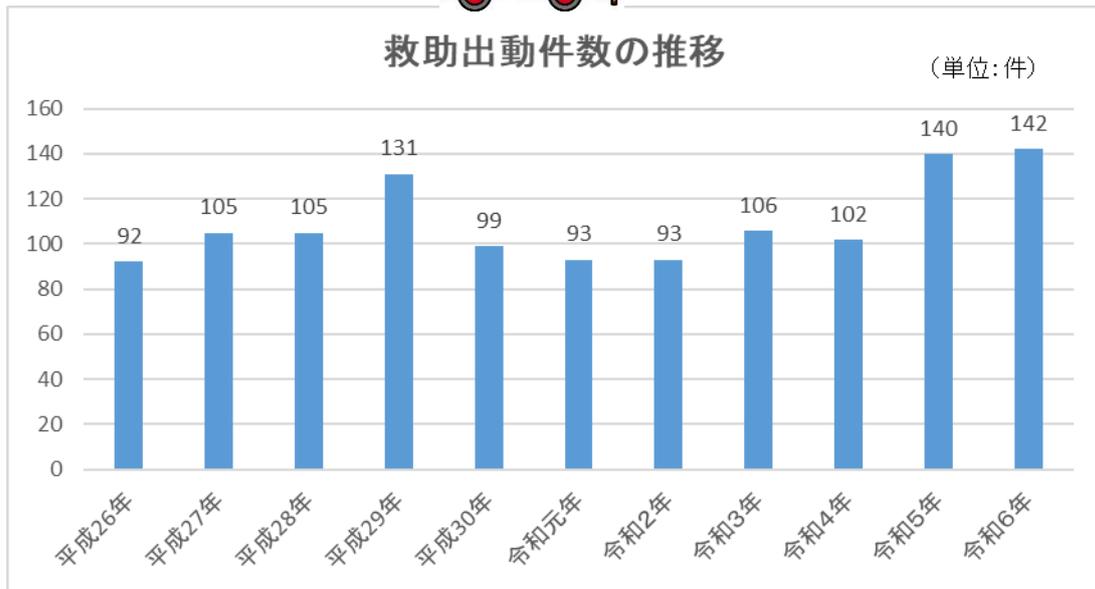
広大な面積を管轄する田辺市消防本部の地域性として、高齢者の中には病院を受診したくても移動手段がなく、救急要請せざるを得ないケースがあります。

緊急性の低い傷病者への救急車以外の搬送手段の確保と併せて、田辺市消防本部が取り組んでいる救急安心センター（#7119）事業の認知度の更なるアップに努め、引き続き救急車の適正利用に取り組んでまいります。



### 3 救助統計

#### (1) 救助出動件数



#### (2) 出動状況

(単位: 件)

種別	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス・酸欠	破裂	その他	合計
令和6年	1	41	7	1	3	15	0	0	74	142
令和5年	1	32	4	0	2	36	0	0	65	140
増減数	±0	+9	+3	+1	+1	-21	±0	±0	+9	+2

令和6年中における救助件数は、142件（前年比：+2件）となりました。

事故種別では、「交通」に分類される事故が41件、「建物」に分類される事故が15件で、これは建物内で発生した救急事案等で救助隊が屋内進入のために行った救助活動が含まれています。さらに、「その他」に分類される事故が74件で、上記事故種別以外の事故で救助活動を必要としたものをいいます。これらの事故は、全救助事案の91.5%を占めています。また、「その他」に分類される事故のうち、10件は山岳事故であり、熊野古道上での道迷いや山林内作業中に起こった事故となります。